



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4410 URL www.harima.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 2022年11月7日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,897	29.0	2,199	12.9	2,796	37.6	1,491	19.1
2022年3月期第2四半期	36,343	20.7	1,948	446.7	2,031		1,253	265.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,660百万円 (63.3%) 2022年3月期第2四半期 2,853百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	59.52	
2022年3月期第2四半期	49.83	

(注) 2022年3月期第2四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	94,254	43,769	42.4
2022年3月期	78,905	40,104	46.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 39,955百万円 2022年3月期 36,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		19.00		19.00	38.00
2023年3月期		21.00			
2023年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期 第2四半期末の内訳 普通配当19円 記念配当2円 配当合計21円

2023年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当19円 記念配当2円 配当合計21円

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	30.1	2,700	16.9	3,400	1.0	2,500	43.2	100.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	26,080,396 株	2022年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,325,414 株	2022年3月期	914,657 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	25,063,997 株	2022年3月期2Q	25,147,588 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国政府による新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進んだことなどから消費や投資が拡大し、概ね回復基調で推移いたしました。一方で、世界情勢はウクライナ情勢の緊張が続き、エネルギー価格、原材料価格の高騰など不安定な状況が続きました。

日本経済も、7月以降の新型コロナウイルス感染第7波の急拡大により再び社会・経済活動が縮小傾向となりました。また、世界的な半導体不足及び原油高の影響のみならず、外国為替相場が円安方向に急激に変動したことなどから物価上昇圧力が高まり、経済活動に大きな影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループは新中期経営計画『NEW HARIMA 2026』の初年度に当たり、更なる事業の成長に取り組んでおります。

当社グループの海外事業は、欧米での粘接着剤用樹脂の売上高が増加し、製紙用薬品事業が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。利益面でも、原材料価格高騰の影響を受けましたが、売上高が増加したため、前年同四半期に比べ増加しました。

国内事業も、原材料価格の上昇に対する販売価格への転嫁を進めたこともあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、利益面では原材料価格高騰の影響を受け、前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は468億9千7百万円となり、前年同四半期に比べ105億5千4百万円(29.0%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は21億9千9百万円となり、前年同四半期に比べ2億5千1百万円(12.9%)の増益となりました。

経常利益は27億9千6百万円となり、前年同四半期に比べ7億6千4百万円(37.6%)の増益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ2億3千8百万円(19.1%)の増益となりました。

(前年同四半期比)

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	46,897	36,343	10,554	29.0
営業利益	2,199	1,948	251	12.9
経常利益	2,796	2,031	764	37.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,491	1,253	238	19.1

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	9,343	8,475	867	10.2
営業損失(△)	△111	△4	△107	—

売上高は、需要減少はあるものの原材料価格の上昇分を販売価格への転嫁が一定程度進んだことにより93億4千3百万円と、前年同四半期に比べ8億6千7百万円(10.2%)の増収となりました。営業損失は、1億1千1百万円と原材料価格の高騰の影響を受け、前年同四半期に比べ1億7百万円赤字幅が増加しました。

・塗料用樹脂は、建築関連が堅調に推移したことから、売上数量は前年同四半期並みとなりましたが、原材料高騰に対する原材料価格上昇分を販売価格への価格転嫁が進み、売上高は増加しました。

・印刷インキ用樹脂は、商業印刷や新聞などに使用されるインキの需要が前年同四半期を下回り、売上数量は前年同四半期で減少しましたが、原材料高騰に対する原材料価格上昇分を販売価格への価格転嫁が進み、売上高は前年同四半期並みとなりました。

・合成ゴム用乳化剤は、タイヤ生産量が前年同四半期比で減少するなど、需要の減少により売上数量は減少しましたが、原材料価格の高騰分の販売価格への転嫁が進み、売上高は増加しました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	12,170	10,153	2,016	19.9
営業利益	856	976	△119	△12.2

売上高は、引き続き堅調な段ボール原紙の需要により、121億7千万円と前年同四半期に比べ20億1千6百万円(19.9%)の増収となりました。営業利益は8億5千6百万円となり、原材料価格の高騰の影響もあり、前年同四半期に比べ1億1千9百万円(△12.2%)の減益となりました。

・紙力増強剤の販売は、国内では、通販の市場拡大による段ボール需要の増加に加え、東南アジアでの需要が拡大したことから、売上高は増加しました。中国では、古紙輸入規制強化による需要が堅調に推移したことから、売上高は増加しました。

・サイズ剤の販売は、国内では、新聞用紙、印刷・情報紙の需要は減少していますが、原材料価格の高騰分の製品価格への転嫁が一定程度進んだことにより売上高は増加しました。米国では、紙、板紙の生産量が前年同四半期に比べ増加となったことに加え、原材料価格の高騰により市場価格が上昇したことから、売上高は増加しました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	3,780	3,219	561	17.4
営業利益	159	384	△224	△58.4

売上高は、自動車生産台数が減少傾向にありましたが、旺盛な半導体需要の継続もあり、37億8千万円となり、前年同四半期に比べ5億6千1百万円(17.4%)の増収となりました。営業利益は、売上高は増加しましたが、原材料価格高騰による影響で、1億5千9百万円と前年同四半期に比べ2億2千4百万円(△58.4%)の減益となりました。

・熱交換器用ろう付け材料は、自動車生産台数の減少に伴い、売上高は減少しました。

・はんだ付け材料は、自動運転や電動化により電子部品の需要が増加傾向にあることから、売上高は増加しました。

・半導体用機能性樹脂は、5G通信インフラなどの需要拡大が継続していることから、売上高が増加しました。

④ ローター

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	20,463	13,882	6,580	47.4
営業利益	1,616	1,212	404	33.4

売上高は、欧米での堅調な需要を背景に、204億6千3百万円で、前年同四半期に比べ65億8千万円(47.4%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、原材料価格の上昇に対する上昇分が販売価格への転嫁が進んだことにより、16億1千6百万円と前年同四半期に比べ4億4百万円(33.4%)の増益となりました。

・粘着剤用樹脂の分野では、南米、オセアニア地域で物流の混乱に伴い販売数量は減少しましたが、全体としては通販市場の拡大に伴い宛名用ラベルシールに使用される粘着剤用樹脂の需要が世界的に増加し、また、路面標示塗料用樹脂の需要も北米を中心に堅調に推移したことから売上高は増加しました。

・印刷インキ用樹脂の分野では、情報のデジタル化を背景に需要の低迷は継続しているものの、コロナ禍からの経済回復に伴って全地域で需要が回復し、販売数量は増加しました。また、原材料価格の上昇に伴い、販売価格も上昇したことにより売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2022年9月末(A)	2022年3月末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	52,259	44,237	8,021	18.1
固定資産合計	41,995	34,667	7,328	21.1
資産合計	94,254	78,905	15,349	19.5
流動負債合計	35,172	23,149	12,023	51.9
固定負債合計	15,312	15,650	△338	△2.2
負債合計	50,485	38,800	11,684	30.1
純資産合計	43,769	40,104	3,664	9.1
負債純資産合計	94,254	78,905	15,349	19.5
自己資本比率(%)	42.4	46.6	—	△4.2

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前期末に比べ153億4千9百万円増加し、942億5千4百万円となりました。

増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 受取手形及び売掛金が40億8千万円、商品及び製品が10億6千6百万円増加し、原材料及び貯蔵品が23億5千2百万円増加しております。

(固定資産) ヘンケル社資産譲受により顧客基盤が41億3千8百万円増加しております。

(流動負債) 支払手形及び買掛金が34億5千3百万円増加し、短期借入金が71億3千6百万円増加しております。

(固定負債) 長期借入金が4億4千4百万円減少しました。

(純資産) 為替換算調整勘定が28億1千3百万円増加したことにより純資産は増加しましたが、借入金の増加に伴い総資産も増加したことで、自己資本比率は42.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2022年4月1日から2023年3月31日)の業績予想につきましては、2022年8月1日の第1四半期決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,366,550	6,146,212
受取手形及び売掛金	20,147,880	24,228,032
有価証券	1,264,200	—
商品及び製品	7,070,773	8,137,171
原材料及び貯蔵品	8,307,696	10,659,819
その他	2,186,153	3,231,989
貸倒引当金	△105,653	△144,202
流動資産合計	44,237,601	52,259,023
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,292,427	8,580,883
機械装置及び運搬具（純額）	7,522,620	8,755,432
その他（純額）	7,586,615	8,176,669
有形固定資産合計	23,401,663	25,512,986
無形固定資産		
顧客基盤	—	4,138,589
その他	712,918	1,251,245
無形固定資産合計	712,918	5,389,834
投資その他の資産		
投資有価証券	8,863,255	9,674,057
その他	1,702,223	1,432,765
貸倒引当金	△12,619	△13,943
投資その他の資産合計	10,552,859	11,092,879
固定資産合計	34,667,441	41,995,699
資産合計	78,905,043	94,254,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,585,629	14,039,123
短期借入金	7,724,678	14,861,383
1年内返済予定の長期借入金	312,448	1,544,137
未払法人税等	375,950	597,908
役員賞与引当金	96,410	56,050
その他	4,054,741	4,074,364
流動負債合計	23,149,859	35,172,967
固定負債		
長期借入金	12,661,819	12,217,139
長期預り保証金	528,681	500,681
役員退職慰労引当金	4,854	5,080
退職給付に係る負債	242,337	168,582
資産除去債務	39,135	39,135
その他	2,173,933	2,381,937
固定負債合計	15,650,761	15,312,556
負債合計	38,800,621	50,485,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,759,970	9,748,788
利益剰余金	19,128,064	20,141,749
自己株式	△964,715	△1,320,134
株主資本合計	37,936,269	38,583,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,499	4,484
繰延ヘッジ損益	56,704	—
為替換算調整勘定	△1,287,124	1,526,122
退職給付に係る調整累計額	△156,205	△158,003
その他の包括利益累計額合計	△1,195,126	1,372,602
非支配株主持分	3,363,279	3,813,242
純資産合計	40,104,422	43,769,199
負債純資産合計	78,905,043	94,254,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
売上高	36,343,257	46,897,877
売上原価	27,158,487	36,385,336
売上総利益	9,184,769	10,512,540
販売費及び一般管理費	7,236,698	8,313,141
営業利益	1,948,071	2,199,399
営業外収益		
受取利息	16,474	28,202
受取配当金	42,457	53,178
不動産賃貸料	17,477	18,203
為替差益	9,340	19,756
持分法による投資利益	96,193	625,180
その他	106,484	80,490
営業外収益合計	288,428	825,011
営業外費用		
支払利息	131,198	156,766
支払手数料	50,505	3,421
その他	23,187	67,724
営業外費用合計	204,891	227,912
経常利益	2,031,608	2,796,498
特別損失		
投資有価証券評価損	—	43,219
特別損失合計	—	43,219
税金等調整前四半期純利益	2,031,608	2,753,278
法人税、住民税及び事業税	331,875	481,608
法人税等調整額	256,141	573,751
法人税等合計	588,017	1,055,360
四半期純利益	1,443,591	1,697,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	190,575	206,084
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,253,015	1,491,834

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,443,591	1,697,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189,879	△186,995
繰延ヘッジ損益	—	△56,704
為替換算調整勘定	1,217,744	3,208,463
退職給付に係る調整額	2,162	△1,862
持分法適用会社に対する持分相当額	53	△19
その他の包括利益合計	1,409,840	2,962,881
四半期包括利益	2,853,431	4,660,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,469,897	4,059,563
非支配株主に係る四半期包括利益	383,533	601,236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,031,608	2,753,278
減価償却費	1,059,859	1,159,213
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,150	△40,360
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,771	19,035
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△54,028	△80,352
受取利息及び受取配当金	△58,932	△81,380
支払利息	131,198	156,766
為替差損益 (△は益)	△32,822	△66,860
持分法による投資損益 (△は益)	△96,193	△625,180
有形固定資産売却損益 (△は益)	△20,955	△318
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	114
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,183,173	△2,430,392
棚卸資産の増減額 (△は増加)	201,893	△1,713,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	681,226	2,442,185
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	43,219
その他	△150,995	△1,016,583
小計	2,556,606	519,167
利息及び配当金の受取額	68,485	90,929
利息の支払額	△139,050	△153,424
法人税等の支払額	△120,818	△328,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,365,223	128,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	464,100	1,327,900
有形固定資産の取得による支出	△1,113,291	△1,930,865
有形固定資産の売却による収入	24,736	1,179
顧客基盤の取得による支出	—	△4,060,509
無形固定資産の取得による支出	△31,689	△783,831
投資有価証券の取得による支出	△2,204	△2,290
投資有価証券の売却による収入	—	86
貸付金の回収による収入	18,038	20,454
その他	△9,211	△30,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649,522	△5,457,890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	868,393	6,512,990
長期借入金の返済による支出	△89,849	—
配当金の支払額	△477,544	△478,149
非支配株主への配当金の支払額	△210,373	△177,333
預り保証金の返還による支出	△24,500	△27,428
自己株式の取得による支出	△43	△394,209
その他	△77,304	△23,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,222	5,412,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	307,950	673,885
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,012,428	757,072
現金及び現金同等物の期首残高	3,421,540	5,338,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,433,969	6,096,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	8,475,681	10,153,924	3,219,373	13,882,832	35,731,810	749,235	36,481,046	△137,789	36,343,257
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	141,698	27,044	—	308,173	476,917	89,470	566,387	△566,387	—
計	8,617,379	10,180,968	3,219,373	14,191,006	36,208,728	838,705	37,047,433	△704,176	36,343,257
セグメント利益又は損失(△)	△4,631	976,391	384,243	1,212,086	2,568,089	△7,651	2,560,438	△612,366	1,948,071

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	9,343,200	12,170,661	3,780,598	20,463,667	45,758,127	1,065,883	46,824,010	73,866	46,897,877
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	134,384	122,141	—	712,379	968,906	89,061	1,057,968	△1,057,968	—
計	9,477,585	12,292,802	3,780,598	21,176,046	46,727,033	1,154,945	47,881,979	△984,101	46,897,877
セグメント利益又は損失(△)	△111,974	856,908	159,873	1,616,555	2,521,362	△22,714	2,498,647	△299,248	2,199,399

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2023年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2022/3期		2023/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	9.8億円	29.2億円	※64.1億円	※90.0億円

※ヘンケル社より譲受資産含む。

2. 減価償却実施額

	2022/3期		2023/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	10.5億円	21.7億円	11.5億円	24.0億円

3. セグメント別売上高

	2022/3期		2023/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	84.7億円	175.6億円	93.4億円	192.0億円
製紙用薬品	101.5億円	211.7億円	121.7億円	250.0億円
電子材料	32.1億円	63.0億円	37.8億円	95.0億円
ローター	138.8億円	295.1億円	204.6億円	436.0億円
その他	7.4億円	15.2億円	10.6億円	19.0億円
調整額	△1.3億円	0.0億円	0.7億円	△2.0億円
合計	363.4億円	760.9億円	468.9億円	990.0億円

4. 海外売上高

	2022/3期		2023/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	67.1億円	18.5%	111.1億円	23.7%
欧州	64.3億円	17.7%	91.4億円	19.5%
アジア、オセアニア	77.1億円	21.2%	91.5億円	19.5%
合計	208.6億円	57.4%	294.0億円	62.7%